

FUJITSU

ServerWizard V1.0 解説書

富士通株式会社

1999年6月2日

All Rights Reserved、Copyright© FUJITSU LTD. 1999

ServerWizard 解説書

1. ServerWizard とは？



ServerWizard は今迄難しいとされていた NOS (Microsoft® Windows NT® Server Operating System Version 4.0 又は、Microsoft® BackOffice® Small Business Server Version 4.0) のインストールと、ネットワークシステム構築を簡単かつ正確に行い、信頼性の高いサーバ/クライアントシステムを作成する為に開発されたサーバのセットアップツールです。

通常、ミスの無い確実な NOS のインストールや、ネットワークシステムの構築には、幅広いハードウェアとソフトウェアの知識が必要とされます。知識・経験豊かな専門家も、必要項目を設定しながらの NOS インストールでは、時には入力ミスなどで初めから設定し直したり、パラメータの設定ミスでインストールが中断したりと、労力と時間を費やす事が多々あります。

また、ディーラ、販社の方々の様に、複数のサーバのセットアップ、複数クライアントのサーバへの接続など、同じ設定とセットアップを何度も繰り返す場合に、パラメータ設定とインストール時間を効率よく行う事は難しいとされています。

ServerWizard を使用することにより、上記のようなミスを防ぎ、複数サーバ、複数クライアントのセットアップを一度に行う事が可能になり、時間を有効に使えます。ServerWizard が、ミスの無い確実な信頼性の高いサーバシステムの構築を実現した理由の一つには、“ NOS とサーバのセットアップに必要なパラメータ設定と、実際のインストール作業の分離を可能とした事 ” があげられます。

2. ServerWizard を使うと...

ハードウェアやネットワークの専門知識があるディーラから、一般ユーザまで、幅広く ServerWizard を利用して頂いています。

特にシステム構築を繰り返し行う SE、ディーラ、販社の方々からは、

- * 必要な情報を NOS インストール前に確認しながら設定する事で、インストールミスを削減できる。
- * CD-ROM の入れ替え以外は自動インストールなので、インストール時間を有効に

活用できる。

- * 設定情報をフロッピーに保存できるので、システム構築時に情報を再利用し、構築時間を短縮できる。
- * オプションカードの挿し間違い、間違ったドライブのインストール、ハードディスクの設定ミスなど、NOS インストール前に警告があるので、ハードウェアの取り付けミスを防止できる。
- * NOS の情報だけでなく、ネットワーク内のユーザ、グループ、クライアント、共有資源も、インストール前に設定可能なので、サーバのセットアップ後、クライアントをセットアップするだけでネットワークシステムを構築できる。
- * 多数のクライアントコンピュータのセットアップや、資源の共有とインストールをフロッピー 1 枚で簡単にできる。

また、一般のユーザの方々からは、

- * 専門知識が無くても、インストール情報を保存したフロッピーディスクがあれば、わかり易い GUI の指示に従って簡単にサーバ/クライアントシステムの構築ができる。
- * セットアップ前に、インストールを行うプロトコルやサービスをきめこまかく設定できる。
- * NOS のサービスパック、又はオプションパックを NOS インストール時に適用する事ができて便利。
- * ネットワーク構成を GUI マトリックスで一覧でき、一括設定、一元管理しやすい。
- * クライアントの環境もサーバで管理できる為、サーバ資源への不当なアクセスを防ぐことができる。

等の好評、感想をいただいております。

3.ServerWizard 機能のご紹介

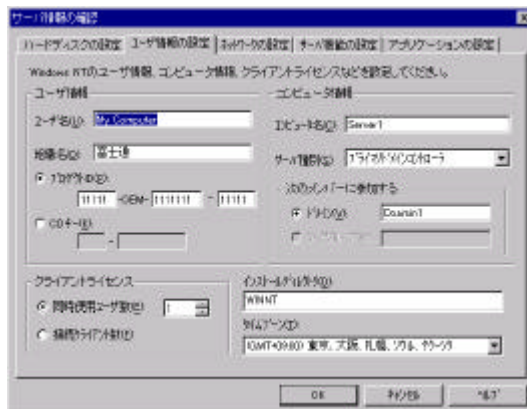
簡単で便利、しかも正確なサーバ/クライアントのインストールとセットアップを行う為に、ServerWizard は次の 4 つの機能を提供しています。

DesignMagic



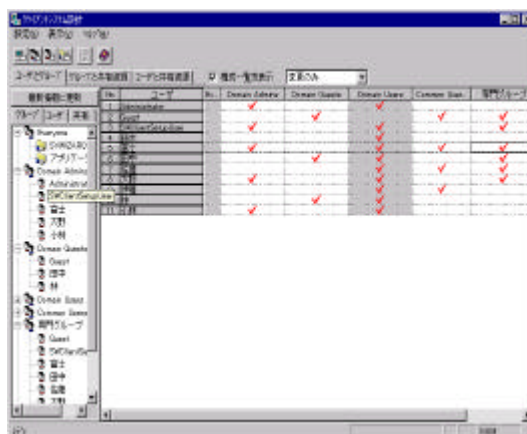
サーバインストール、ネットワーク構築（オプション）に必要な情報を GUI ベースのウィザードで設定し、設定情報をフロッピーディスクに保存します。（.SPD ファイル）この情報を元に ServerWizard がサーバのセットアップを行います。

事前にスキルを保持する技術者が、インストールする NOS の情報を確認しながら入力・保存する事で、目的に合った正しいサーバのセットアップを可能とします。



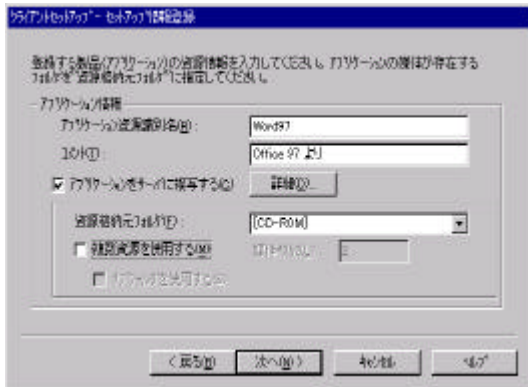
サーバ設計

セットアップするサーバ機種情報ファイル（.MPD ファイル）と NOS インストールに必要な情報を纏めて、確認しながら入力します。ハードウェアの設定からプロトコル、サービス、添付アプリケーションの選択まで、セットアップするサーバの情報を登録します。



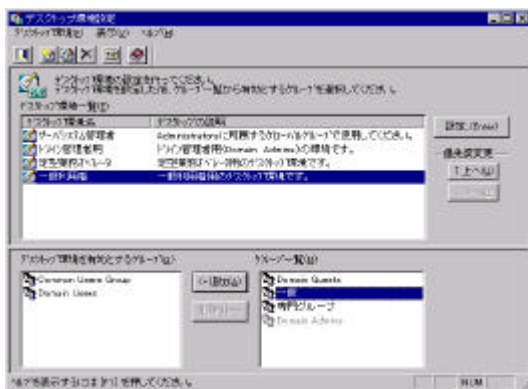
クライアントシステム設計

予めセットアップするサーバのクライアントがわかっている場合に、ユーザ、グループ、クライアントコンピュータ、共有資源の設定を行います。ユーザのグループ所属状況、資源の共有状況設定も、それぞれの要素構成の一覧画面を参照すればわかり易く、簡単に設定して頂けます。



クライアントセットアップ

サーバが資源をクライアントへ配布する場合に、どんな資源をどのように配布するのかを設定します。アプリケーション、ファイル、コマンドが設定可能な資源です。サーバセットアップ後も、WizardConsole を利用して資源配布が可能です。



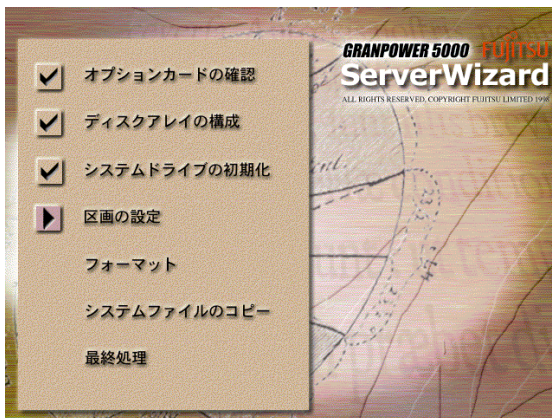
デスクトップ設計

設定したグループに対して、デスクトップ環境の制限設定をします。クライアントの画面から特定のアイコンやタスクバーを隠したり、コントロールパネルのアイテムの制限、不要キーの制限などをする事によって、サーバシステムを不当アクセスから守ります。

「デスクトップ設計」で、制限できる項目は以下の通りです。

- 初期メニューを起動しない
- 初期メニューに Web ページを使用する
- Web メニューをアクティブデスクトップの Web ページに追加する
- Internet Explorer で Web メニューを表示
- タスクバーを隠す
- デスクトップ上の全てのオブジェクトアイコンを隠す
- ログオン時に起動するアプリケーションの指定・制限
- スタートメニューから、設定の「フォルダ」、「タスクバー」を削除
- スタートメニューから、「ファイルを指定して実行」、「検索」等を削除
- コントロールパネルから、「ネットワーク」、「システム」、等を使用不可にする
- レジストリ編集ツールを使用不可にする
- 終了時に設定保存をしない
- マイコンピュータからドライブを隠す
- ネットワークコンピュータを隠す
- MS-DOS プロンプト、タスクマネージャ、を使用不可にする
- 実行許可プログラムの設定
- Alt、Ctrl、Shift キーの抑止、又は組み合わせの抑止

ServerWizard



DesignMagic で作成した情報ファイルを使用し、NOS の自動インストールを行います。または購入したサーバで、インストール情報を入力し、情報をフロッピーディスクに保存後、NOS の自動インストールを行う事も可能です。手動で NOS をインストールする際に必要なドライバなどのバックアップディスクも作成可能です。

新規インストール

DesignMagic のサーバ設計と同じ役割を、MS-DOS ベースのインターフェイスで行います。DesignMagic を利用する環境が無い場合や、サーバのみをより簡単にセットアップしたい時に便利です。

読み込みインストール

DesignMagic で作成した情報ファイルを使用し、セットアップを行います。以下の順序でセットアップを行いますが、セットアップの進行経過が一目で分かるようになっています。

自動カード検出

サーバ情報として設定したデータと、実際にサーバのスロットに挿入してあるオプションカードの種類、枚数、場所を比較し、正しく装置されている場合は自動的に必要なドライバをインストールします。誤りがある場合は、修正を促します。

ディスクアレイの構築

アレイを構成する場合は、別途アレイ構成ユーティリティを使用する事無く、アレイを構成する事ができます。設定したデータと、実際にあるハードディスク台数などを比較し、誤りがあれば修正を促し、正しい場合はアレイを自動的に構成します。

システムドライブの初期化

設定したシステムドライブを初期化します。

独自区画設定、フォーマット

設定された区画を作成し、フォーマットします。

NOS 自動インストール (コピー)

CD-ROM とフロッピーディスクの入れ替えのみで自動的に、NOS、ServicePack、

添付アプリケーションをインストールします。

ServicePack (SP)

NOS 自動インストール中に SP3、SP4 を組み込む事ができます。

サービス、プロトコル自動インストール

選択されたアプリケーションを自動インストールします。(Intel LANDesk (R) Server Manager、FM Advisor、DSNAP、PROBEPRO、RAID 管理ソフトウェア)

ユーティリティ (バックアップディスクの作成)

セットアップディスク、ドライバ、ユーティリティなど、サーバインストールに必要なファイルをフロッピーディスクに保存します。

WizardConsole (オプション)



DesignMagic のサーバ設計で、WizardConsole を選択した場合のみ、サーバのセットアップ後にスタートメニューから起動が可能で、ネットワーク構築と管理を行います。クライアント情報の追加、変更、配布資源の設定などを独自のデータベースで記録、管理します。また、クライアントのセットアップツールをフロッピーディスクに保存し、提供します (.CPD ファイル)。

クライアント情報の追加/変更

ユーザ、グループ、共有資源の設定、追加、変更、削除を行います。ユーザの所属グループや、資源の共有の仕方などの関連付けも構成一覧画面で確認しながら行えます。

クライアントコンピュータの追加/変更

クライアントになるコンピュータの追加、変更、削除を行います。

クライアント導入フロッピーの作成

ClientWizard を含めたクライアントセットアップ情報をフロッピーディスクに保存し、クライアントウィザードを使用してセットアップが可能です。

サーバ情報ファイルの作成

実際に変更されたネットワーク情報をサーバ情報として反映させ、フロッピーディスクに保存します。DesignMagic で参照可能です。

プリンタの追加

新しいプリンタを追加します。

クライアントセットアップ

どのクライアントにどの資源をどのように配布するのかを設定します。資源は一旦サーバに保存するか、直接 CD-ROM などからクライアントに配布できます。また、配布状況として、状態、日時などがデータベースに保存され、一覧表で確認可能です。

デスクトップ環境設定

DesignMagic のデスクトップ環境設定と同じ機能です。サーバが変更したデスクトップ環境は、ユーザがログオンし直すと反映します。

ClientWizard



サーバとクライアントになるコンピュータを繋ぐ、クライアントセットアップツールです。資源配布も同時に行えます。フロッピーディスクに保存され、クライアントになるコンピュータからサーバに働きかけます。既にセットアップされたクライアントに対しては動作しませんが、WizardConsole のクライアントセットアップを使用すれば、セットアップされたクライアントに対して、新たに資源を配布できます。

クライアントの登録

フロッピーディスクをクライアントになるコンピュータに挿入し、Cwizard.exe を起動させると以下のプロセスが自動実行されます。

- * コンピュータ名の変更
- * IP アドレスの設定
- * LMHOSTS の編集
- * サーバの接続
- * 共有資源の接続
- * アプリケーション等のインストール
- * ドメインの確認

フロッピーディスクを複数作成すれば、複数クライアントも一度にセットアップ
できます。

WizardMenu



クライアントの仕事内容によって、
メニューを作成できます。デスクトップ設
計でアイコンやタスクバーを隠した場合や、
サーバのシステムを保護する時に利用しま
す。クライアントのWizardMenuを作成す
るHTMLツールも、デスクトップ設計をサ
ーバにインストールした場合のみ、提供さ
れます。

以上の様な ServerWizard の機能は、サーバの NOS インストールからサーバ/
クライアントシステム運用・管理まで、作業を簡素化しながらわかり易く確実なネットワ
ーキングをサポートしていますが、各機能は選択可能ですから、用途に合わせて活用して
頂けます。